

創立 120 周年記念事業 新次郎池周辺整備

「東経の森」

創立 120 周年記念事業として、およそ 1 年半をかけたプロジェクトがこの度竣工しました。

大学と地域とを結ぶ「縁結び」をコンセプトとし、環境に配慮した水と緑の空間を整備し、学生や教職員、地域の人々に愛される場づくりを目指しました。

真清水に 想い浮かべる ふたば草



本学創立 120 周年記念事業である新次郎池周辺整備工事は、2020 年 2 月に着工しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、工期に若干の影響はありましたが、無事 10 月に完成の運びとなりました。

「展望パーゴラ」「森のデッキ」など、国分寺崖線の自然の景観を生かしながらも居心地の良い空間をつくりだしています。また「木漏れ日の道」は散歩をしながら思索を巡らせることのできる小径になっています。四季によって変化する森の中で、風と緑に触れながら、穏やかな時間の流れを感じてみてください。

学長 岡本英男

